

第2回名古屋市・愛知県調整会議 議事概要

1 日時 平成28年8月30日(火) 午前9時10分～午前10時6分

2 場所 名古屋市役所本庁舎5階 正庁

3 出席者

【名古屋市】 河村市長、加藤市会議長、福田市会副議長、新開副市長

【愛知県】 大村知事、鈴木県議会議長、森下県議会副議長、中西副知事

4 議事概要

(1) 開会

(2) あいさつ

<河村市長>

- ・東京が威張っているが、愛知と名古屋が日本中を支えているのは間違いない。
- ・色々な課題を議会の皆さんを含めて話し合いができれば、大変いい事ではないかと思う。

<大村知事>

- ・この会議は、法律の改正を受けて、4月19日に全国に先駆けて始めているもの。今回は2回目ということで、名古屋市会の加藤議長、福田副議長、県議会の鈴木議長、森下副議長にもご参加いただいた。
- ・様々なプロジェクトを県・市共同で実施していくことが重要。皆様のご意見をいただきながら、愛知県と名古屋市がベクトルを合わせて前進することが地域のためになるので、お力添えをいただきたい。

(3) 議題

① 県・市の連携事業について

<鈴木県議会議長>

- ・過去を振り返ると、愛・地球博の誘致や、セントレアの開港、そうしたプロジェクトを県・市が連携をして今日の基礎を築いてきた。
- ・リニアがいよいよという時期になってきた。県としては、総合交通のあり方などについて、名古屋市と連携しながら、お互いにしっかりとした方向性を目指していくべきだと思う。また、リニアについては、県の期成同盟会で大村知事が会長、私も顧問を務めており、こうした立場の中でしっかりとした取組みを図っていきたい。
- ・この6月議会でアジア大会の招致に対して、議会として決議をした。アジア大会の招致も、この地域に、文化、スポーツを通じたインパクトは大きいので、名古屋市・愛知県がお互いに連携し合って目指していくべきだと思っている。

<森下県議会副議長>

- ・愛知県は、過去に東海豪雨など洪水被害、伊勢湾台風などの高潮の被害などを始め、様々な大規模自然災害を経験している。また、南海トラフ地震で想定されている被害は甚大で、愛知県議会では、6月議会において、国に対策推進を求める意見書をまとめたところであり、地震・津波対策も急務である。
- ・この地域は、人口や大都市機能の集中、産業の集積、全国有数の農林水産業、国内外の物流ネットワークの要などの重要な機能を有している。強靱な地域づくりは、地域が発展していくための前提となるものであり、今後とも、県・市がしっかりと連携して取り組んでいただきたい。
- ・観光客の誘致については、名古屋市には大都市としての魅力があり、愛知県には豊かな海や山といった恵まれた自然環境がある。産業観光、あるいは武将観光など、県・市共通分野の観光資源も多い。愛知・名古屋観光プロモーションについても、県・市がしっかりと連携して取り組んでいただきたい。

<加藤市会議長>

- ・愛知県と名古屋市が隣同士にしながら、仲がいいのに仲が悪いとか言われがちなので、こういった会議が議会も入る中で行われるということは大変有意義。
- ・リニアの開通というのは、2027年に向けて大きな名古屋・愛知の取っ掛かりになる。リニア開通とともに、観光の面でも県と市が一体となって取り組んでいくことが大事。
- ・アジア大会の成功は私どもがやらなければならない事だが、乗り越えなければならない課題が多々ある。一つ一つ課題を解決して、議会にも市民にも県民にも説明責任を果たしていくということも我々の責任であるし、大会の成功につながると思うので、是非ともよろしく願いしたい。
- ・MICEの誘致についても、特に展示場等々で県と名古屋市がどうなるんだ、という話もあるので、せっかくこういう調整会議ができたので、無駄にならないような、あるいは使う側が便利な、そんな方法を模索しながら調整ができたらいい。

<福田市会副議長>

- ・杉原千畝は27年度にクローズアップされ、名古屋市においても銘板を配置した千畝の「人道の道」を設定し、イベントを行っていく。
- ・杉原千畝は昭和15年の外交官時代にユダヤ系の難民に対し2,000通を超えるビザを発行し、6,000人を救ったと言われている。多くはアメリカ、カナダなどに渡っており、アメリカでも千畝の事を讃えている。ロサンゼルスのリトル・トーキョーという日本人街に千畝の銅像が設置してあり、大変感動した。
- ・「人道の道」の近くにある平和小学校の図書室前には、杉原千畝の年表、行動、業績が掲示されており、校庭には「ちうねチャイム」が設置されている。県も来年以降に向けて千畝の施設の調査・検討を行うと伺っており、「人道の道」のゴールである瑞陵高校に、千畝の銅像でも建てていただければいいかなと考えている。
- ・杉原千畝のように困っている人に手を差し伸べる事がどんなに偉大な事か、とい

う事を子供たちに見せることも大変大事なことはないか。

<大村知事>

- ・杉原千畝は、平和小学校（旧古渡尋常小学校）と瑞陵高校（旧制愛知五中）に在学し、早稲田に行かれたが、その間、名古屋にいたというのは間違いなく、在学の名簿と学籍簿が残っているので、そういったものを当たって顕彰していけたらと思っている。
- ・アジア大会については、5月13日に私と河村市長とでJOCの会長に立候補意思表示し、7月にはOCA・JOCの視察団の方々にジャッジしていただいた。早急に調整を進めているが、昨日も記者会見で申し上げたが、なかなか事業の前提が固まってこない。8月はリオのオリンピックがあったので、JOCのメンバーもOCAのメンバーもこちらにいなかった。ようやく今、協議を再開しており、できるだけ詰められるところは詰めて臨みたい。またよくご相談させていただいて続けていきたい。
- ・伊勢志摩サミットは、この名古屋で受け入れ、おもてなし、歓迎ができたのは、大変素晴らしいことだった。またこれからもこういう形で、アジアの国々との連携をしっかりと強化していけたらと思っている。
- ・リニア中央新幹線については、この6月に名城非常口新設工事が始まった。我々に託された使命は、名古屋駅周辺の用地買収、用地確保である。その難事業にしっかりと取り組み、2027年度の開業を確実なものにしたい。
- ・あいちトリエンナーレ2016が8月11日に開幕した。愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋のまちなか、豊橋、岡崎で開催されており、大変内容の濃いものとなっている。多くの皆様にお越しをいただければと思っている。
- ・その後、10月29日から第31回国民文化祭が始まる。12月には第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会もある。ぜひ多くの皆様にお越しをいただいて、盛り上げていければと思う。名古屋市と愛知県が連携しながら成功に向けて協力していきたい。

<河村市長>

- ・リニアの話が出て、大阪の危機感と郷土愛、浪花の持つ盛り上がりというか、ものすごい能力。大阪の持つ歴史もあるし、存在と雰囲気を感じてほしい。名古屋もよっぽど面白くないと。残念ながら、この前名古屋市が調べた数字で、行きたくないまちNo.1ということで、ちゃんと発表することはいい。よほどの危機感を持って、県と話しながら面白いまちを作らないと申し訳ないことになる。
- ・アジア大会は、市民・議会の皆さんに納得していただけるようなものは是非つくっていただく。東京オリンピックもどえらい金額で問題になっているので、市民の皆さんのためにスポーツ施設としてずっと使えるのはいいが、なんかわけわからん、運営費でめちゃくちゃかかるのはちょっとたまらん。
- ・杉原千畝が平和小学校に行っていたときに住んでいた所もわかり、その後、尾頭橋の方に変わられたということもわかって、そこからどう今の瑞陵高校、旧制五中に歩んだか、ここしかないだろうという推測もできて、「人道の道」と言って

いるので、本当に歩けるように、うまいことちょっと作って歩いてみると。千畝さんが青春時代にここを歩んだか、ということを知るように、あくまで本物を把握して、世界の人に来てもらおうと。

- ・名古屋から魅力を作ろうということになると、名古屋城の天守をまず木造にしないと。都市の一番重要な誇りになる。本物でせっかく作れるんだから、作らないと大阪に勝つことはできないのでは。

＜福田市会副議長＞

- ・リニア中央新幹線の開通に向けては、自宅から目的地まで時間を短縮という事で乗り換えの短縮手段をしっかり整備しないかん。海外の方が来た時にどこへ行っても迷わない様な、いわゆる多言語の案内板が必要になってくるのではないかな。

＜河村市長＞

- ・面白いところでないと、みんな滞在してくれない。行きたくないまち No.1 の危機感を持たなければいかん。ああいう数字を名古屋市が出したのはいいこと。

＜大村知事＞

- ・この間、リニア中央新幹線建設促進愛知県期成同盟会の総会があり、その講演資料では、東海地方で行きたいところとしては、名古屋が一番だった。商業とか、都市の集積の力、宿泊施設も名古屋が圧倒的だ。ただ、全国から見て、名古屋といい、愛知といい、お客さんをどこか連れて行くところがあるかと言われると、なかなか、ということはある。

＜河村市長＞

- ・名古屋には厳しく言ってもらった方がいい。ものすごい立地上便利だから。名古屋近郊はみんな名古屋に来るように交通網がなっている。それがなんで日本一行きたくないまちなんだと、何か具体的に提案しているのかと言ってもらわないと、愛知県全体の力を落とすので。

＜鈴木県議会議長＞

- ・大阪と名古屋とを比べると、大阪のまちなみはビルそのものを含めた面白さがある。四角いようなビルはあまり見かけない。せっかく街中の開発を民間でおやりになるので、ぜひともしっかり支援していただいて、名古屋もだいぶ斬新なものが増えたなど、そんなことを期待したい。

＜加藤市会議長＞

- ・名古屋はどちらかというと今まで点での開発が多かったわけで、市長さんが言われるように、名古屋城の木造復元でも反対ではないが、急ぐなということ。
- ・レゴランドが金城ふ頭に来るし、あるいは熱田神宮だとか、色んな由緒ある観光地もある。既存の交通網だけではなしに、名古屋には中川運河、堀川が通っているので、そういったものも活用した面的な開発が新しい魅力づくりになる。

＜河村市長＞

- ・道路というと、戦災復興事業で狭い道路は作らないと、そう計画に書いてある。横丁とか、ああいうものは消滅した。名古屋は東京と京都の間、トヨタ自動車があるし、地の利があるので大変にラッキーなんだけれど、よほどの気持ちを持つ

てかからないと、結局、産業の力を落としてしまわないかということ、都市の魅力がないので。

<森下県議会副議長>

- ・中部国際空港の二本目の滑走路について、8月1日に超党派の県議会の議連で国へ陳情に行った。やはり中部の玄関口は中部国際空港であろう。何とか二本目の滑走路の早期完成を目指していきたいので、知事・市長にご意見をお聞かせいただきたい。

<大村知事>

- ・二本目滑走路期成同盟会で、県議会と経済界と一緒にあって、早期に実現を目指していきたい。

<河村市長>

- ・私も同じ様に思っている。名古屋の魅力をあげるのが先か、セントレアか。作ってしまうと、早くお客を呼ばないと赤字になってしまう。まあ早く進めたいと思っている。

<森下県議会副議長>

- ・8月に大阪府警と兵庫県警に行った。愛知県も地下鉄、地下街があるが、大阪、神戸にも地下街がある。いわゆる3連動、4連動地震が起きたら、大阪でも6mの津波が起こり、地下街で大きな被害が出るということ。大阪の方々は非常に重要な課題と捉えていた。
- ・地下街の避難路についても非常に考えていた。防災グッズとして、マットを配布して命を守るという政策も行っている。命を守る政策をもっとしっかりやっていただきたい。こういう会議の中で進めてほしいと思う。

<加藤市会議長>

- ・防災問題は言われるとおり、地下街もふまえ、県と市と連携してやっていかないといけないし、南海トラフは3.6mの津波が名古屋市に来るといわれているので、そういった対策も、こういう会議等々で細かい打合せをできたらな、と思う。

<河村市長>

- ・日本最大の0m地帯。実際、伊勢湾台風は小学校5年の時だったが、大悲劇があった。甘いわね、やっぱりまだ。大阪から言うと。いいご指摘をいただいてありがたい。

<大村知事>

- ・名古屋人といい愛知県民といい、黙々と仕事をする。観光はいいわ、仕事だと。仕事があれば人が来る、来たければ来い、という雰囲気があったのは事実だと思う。しかし、愛知・名古屋には歴史も文化もあるので、もっとアピールして来てもらうことが大事だと思う。
- ・リニアについて、我々としては名古屋駅にどう早く来るか、東京-名古屋は40分になるが、名古屋駅から1時間も2時間もかかるというのではいけないので、40分圏内を沢山作るということが課題になっている。名古屋駅に高速道路網、鉄道網をつけるということも力を入れていかなければならない。そういうことも

県・市で連携していけたらと思う。

<河村市長>

- ・去年、メルボルンでケアンズーセントレアの直行便を作ってほしいと言いに行った際に、先方の CEO から「名古屋は非常にリスクだ。デスティネーション（目的地）は何があるのか」というお話をいただいた。誰も発言しないので、私が焦って「そりゃナゴヤキャッスル」と言い、戦争で燃えたものをもう一回建て直すと言ったら、「イツエクセレント！」と言われた。
- ・問題はそういう話が出てこないこと。いやな話というのは、大事なこと。病気なら病気でちゃんとどこがいかなと言われるわけで、ありがたい話。遠慮されなくてもいいので、名古屋のまちづくりについてご意見をいただきたい。

②その他

<事務局>

- ・調整会議については、本年4月に第1回、本日第2回と計2回開催させていただき、本日知事・市長からも県・市の連携事業について今後も引き続き県・市で協力して取り組んでいくという方向性をいただいた。したがって、今年度の調整会議については、必要が出てきたら、知事・市長協議の上で改めて開催するということとさせていただきたい。

<河村市長・大村知事>

（了承）

（4）閉会

<大村知事>

- ・地方自治法改正後、県・市で、名古屋市・愛知県の調整会議という形でいち早く始めている。日常的に色々な面で協議調整しているが、改めてこういう形で議論することもいいことだと思う。しっかりと一緒にやっていければと思う。
- ・愛知・名古屋の産業集積をしっかりと、地域を良くするように、活かしていけるようにと思っているので、今後ともよろしく願いしたい。

<河村市長>

- ・圧倒的に名古屋、愛知・名古屋が日本を支えている、ということ。ちゃんとやっぱりこの地域に投資をして、納税してくれた人に喜んでもらわなければいかん。上納を受けている意識が東京になく、偉そうにしている。それではいかん。
- ・この辺は日本国の出資元というか、工場みたいになっている。東京と京都に負けないように、そういう体制をつくりたい。
- ・議長・副議長の皆様方には貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。